

# 平成 2 9 年度 学校評価実施報告書

京都市立向島中学校

## (1)「確かな学力」の育成に向けて

	<p>重点目標</p> <p>「授業の工夫と改善」および「家庭学習の定着」</p>
	<p>具体的な取組</p> <p>○授業の中に、話し合い・教えあい・学びあいなどのグループ学習を積極的に取り入れる。</p> <p>○生徒のアウトプットの場を増やすような授業を工夫する。</p> <p>○年間 3 5 時間の「道徳の授業」を通じて、発言の喜びや人の意見を聞く喜びを感じさせる。</p> <p>○静かな学習への入りを促し、学習習慣を徹底させるため、毎日 1 0 分間の朝読書を行う。</p> <p>○英語の学力向上を目指して、MUKATAN（向島単語検定）の取組を継続する。</p> <p>毎日英単語を覚えてくる 週に 1 回まとめテストを行う 検定制度を設け上級を目指させる</p> <p>○自学自習ノートの取組を継続し、家庭学習の習慣を身に着けさせる。</p> <p>自学自習ノート（向島特製）を配布する。5 教科より自学自習の学習例を提示する。終学活で計画させる。家庭で継続してやらせる。朝学活で回収し学年でチェックして終学活で返却する。未提出者には提出を促す取組を学年独自で考える。自学自習が難しい生徒には課題を与える。優秀ノートを紹介する。保護者にも協力を求めている。</p>
	<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <p>○学校生活の向上と改善のためのアンケート調査</p> <p>○全国学力調査質問紙</p> <p>○日曜参観保護者アンケート</p>
	<p>各種指標結果（1 回目）</p> <p>【学校評価】</p> <p>授業はわかりやすく、工夫されている（3 年 5 7 %，1，2 年 8 9 ～ 9 2 %）</p> <p>授業で話し合いの活動が取り入れられ、自分の意見を発表する場がある（全体 7 8 ～ 8 7 %）</p> <p>学習確認プログラムを効果的に活用し、計画的に学習している（全体 5 7 ～ 6 0 %）</p>
<p>自己評価</p>	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A L を積極的に取り入れた授業改善が進んできた。</li> <li>・ 昨年度より改善されたが、3 年生の学習意欲に以前課題がある。</li> <li>・ 家庭学習は、自学自習ノートの活用には取り組めたが、家庭学習の時間が短い。</li> </ul> <p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続して A L を効果的に取り入れる授業改善を行う。（図書館活用，I C T 機器活用）</li> <li>・ 授業研修や授業公開を通して、授業改善について研究を深める。</li> <li>・ 家庭学習について、課題の内容を教科と学年が連携しながら工夫改善を行う。特に学習確認プログラムが計画的に家庭学習に位置づけられるようにする。</li> </ul>

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・３年生の学習課題は改善の方向に進んでいると考える。 ・小中一貫教育開設にあたり，学力面の向上は絶対に必要である。 ・地域や保護者がもう一段高いレベルを求めるように目標値を設定しなければならない。	
	評価日 平成２９年１１月７日	評価者 学校評議員会
各種指標結果（２回目） <b>【学校評価】</b> 授業はわかりやすく，工夫されている（３年８６％，１，２年８９～９２％） 授業で話し合いの活動が取り入れられ，自分の意見を発表する場がある（８６％） 学習確認プログラムを効果的に活用し，計画的に学習している（８０％）		
自己評価	分析（成果と課題） ・家庭学習は，生徒の自己評価はポイント上昇が見られたが，保護者は，あまり家庭学習ができていないとは考えていない。 ・アンケートでは，学習確認プログラムの活用がかなり上昇した。	
	分析を踏まえた取組の改善 ・学習確認プログラムの活用が上昇しているので引き続き家庭学習に計画的に取り入れられるよう指導を工夫したい。 ・向島秀蓮小中学校開校に向けて，クリティカルシンキングの視点を授業に取り入れる計画を進めている。	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・３年生の成長の姿を見るとそれらが学力向上につながることを期待する。	
	評価日 平成３０年３月２０日	評価者 学校評議員会

## （２）「豊かな心」の育成に向けて

重点目標 「道徳教育の充実」および「人権教育の充実」	
具体的な取組 ・道徳教育の充実に関して ○道徳の時間を３５時間確保するとともに、道徳の時間を中心とした道徳教育を充実させる。 ○道徳の授業形態（学年道徳・全校道徳・ローテーション道徳など）をさまざまに研究する。 ○３１年度道徳の教科科に向けて指導と評価の一体化を図っていく。 ○「生徒十訓」を基軸とした規範意識を醸成するとともに、学級づくりと連動させた仲間づくりに力を入れる。 ・人権教育の充実に関して ○人権教育のあり方や人権学習、再構築する。すなわち、国際理解教育と外国人教育の同異性について、本校としての解釈を明確にして取り組む。また、同和教育と外国人教育の歴史と現状をどのように関連させ、どの程度まで考えさせることが可能か考え直す。 ○いじめについて深く学習するとともに、いじめの起こらない集団を作ることに積極的に取り組む	
（取組結果を検証する）各種指標 ○学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 ○全国学力調査質問紙 ○日曜参観保護者アンケート	
各種指標結果（１回目） <b>【学校評価】</b> 温かな学校・学年・学級に近づいている（８７％） 学校生活全般は楽しく充実したものになっている（９０％） いじめは絶対許さないという意識である（８８％） 他者を思いやるなど、相手の立場になって物事を考え、行動している。（８７％） 校則はきちんと守れている（８７％） 先生や来訪者への挨拶・礼儀・言葉づかい・服装はきちんとできている（８５％）	
自己評価	分析（成果と課題） ・音楽コンクールや体育大会などの行事を通して、自分の居場所を学級や学年に見つけ、温かな雰囲気学校生活を送れている。 ・規範意識や人権尊重の態度はおおむねできているという回答結果であるが、校則違反やケータイによるトラブルが多い。 ・道徳は、学年道徳や学年で担当の持ち回りを道徳など取り組み方を工夫した。
	分析を踏まえた取組の改善 ・コミュニケーション能力が高まるような取組や授業においてもそれを意識した工夫を行う。 ・道徳の授業を通して、生徒の日常的な課題や問題について、共に考え行動できるようにする。 ・道徳の公開授業を積極的に行う。

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・学校行事（特に音楽コンクール）には、生徒の成長を感じ嬉しく思う。 ・学校行事に取り組む姿がきちんとしている半面、見えないところで悩みを抱えていたりしていることに保護者や地域も目を向けていかなければならない。 ・引き続きＳＮＳの危険性を感じる。	
	評価日 平成２９年１１月７日	評価者 学校評議員会
各種指標結果（２回目） <b>【学校評価】</b> 温かな学校・学年・学級に近づいている（８５％） 学校生活全般は楽しく充実したものになっている（８９％） いじめは絶対許さないという意識である（９０％） 他者を思いやるなど、相手の立場になって物事を考え、行動している。（８７％） 校則はきちんと守れている（９０％） 先生や来訪者への挨拶・礼儀・言葉づかい・服装はきちんとできている（８５％）		
自己評価	分析（成果と課題） ・１２月に全学年で人権学習に取り組み、規範意識や人権尊重の態度について意識的に考えるきっかけになった。 ・道徳は、学年道徳や学年で担当の持ち回りを行った。また校長による学年道徳にも取り組めた。	
	分析を踏まえた取組の改善 ・コミュニケーション能力が高まるような取組や授業においてもそれを意識した工夫を行う。 ・道徳の授業を通して、生徒の日常的な課題や問題について、共に考え行動できるようにする。 ・道徳の公開授業を積極的に行う。	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・卒業式の姿を見ると３年生の成長した様子がうかがえる。 ・これからは向島秀蓮小中学校として、小さな頃からの教育を継続して行なわれることに期待する。	
	評価日 平成３０年３月２０日	評価者 学校評議員会

### （３）「健やかな体」の育成に向けて

重点目標 「基本的生活習慣の見直し」および「部活動の充実」	
具体的な取組 ・基本的生活習慣の見直し ○「早寝・早起き・朝ごはん」の重要性を生徒及び家庭に向けて説き続ける。 ○遅刻者に対して徹底した指導を行う。（把握の仕方と対処の方法を徹底する） ○保護者に対して、懇談会や保護者会で「食」と「生活習慣」の重要性について啓発を進める。 ・部活動の充実 ○部活動の目的は「人格形成」であることを生徒と教職員で確認する。 ○練習には必ず顧問がついて指導する。 ○部活動を通じて心身を鍛え、ストレスを解消するなど、心身の健康を図る。	
（取組結果を検証する）各種指標 ○健康生活アンケート ○全国学力調査質問紙 ○日曜参観保護者アンケート	
各種指標結果（１回目） <b>【健康生活アンケート】</b> 朝食を毎日食べていますか（８８％） 平日ケータイ等の使用時間２，３時間以上（平成２８年度３５％→平成２９年度２９％）	
自己評価	分析（成果と課題） ・睡眠時間が短く、寝るのも遅い傾向があった。（ケータイやテレビ等の時間が長い。） ・個別懇談会において担任や進路保護者会において校長より、「食」と「生活習慣」について啓発が行えた。
	分析を踏まえた取組の改善 ・生活習慣が家庭学習に与える関連性について、さらに指導や保護者啓発を行う。 ・ケータイの使用について、情報モラルの指導内容について検討を行う。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・ケータイの問題や生活習慣の問題は、保護者の責任が大きく、引き続き保護者啓発を進めていく。
	評価日 平成２９年１１月７日      評価者 学校評議員会
各種指標結果（２回目） <b>【健康生活アンケート】</b> ５時間以上携帯電話を使用している児童・生徒（小３～小５，中１では３％，中２で１０％，小６で１４％，中３で１９％）	

自己評価	分析（成果と課題） ・小中学年別で健康生活アンケートを実施し、分析と教職員への共通理解が行えた。 ・ケータイの使用が睡眠時間に影響を及ぼしていると考えられる点から長時間の使用が生活習慣の乱れを引き起こしている。		
	分析を踏まえた取組の改善 ・引き続き生活習慣が家庭学習に与える関連性について、さらに指導や保護者啓発を行う。 ・ケータイの使用について、情報モラルの指導内容について検討を行う。		
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・ケータイの問題や生活習慣の問題は、保護者の責任が大きく、引き続き保護者啓発を進めていく		
	評価日	平成30年3月20日	評価者 学校評議員会

#### （４）学校独自の取組

重点目標	
「生徒十訓のさらなる取組」および「小中一貫に向けての取組」	
具体的な取組 生徒十訓の日 生徒十訓ばっちり週間 小中合同研修会の実施 小中各種主任会の実施 オープンスクールの実施 小学生による体験授業・体験部活動の実施	
（取組結果を検証する）各種指標 ○学校生活の向上と改善のためのアンケート調査 ○全国学力調査質問紙 ○生徒十訓アンケート ○日曜参観保護者アンケート	
各種指標結果（１回目） <b>【学校評価】</b> 生徒十訓を意識して学校生活が送れている（８３％）	
自己評価	分析（成果と課題） ・生徒十訓の日を定め、生徒会が自主的に取り組むことができた。 ・小中一貫教育校開設に向けて、３校合同全体会議の定期的な開催や各部会の開催により、学校指導課 学校統合推進室や開設準備室の協力をいただきながら、さらに具体的に取組を進めることができた。
	分析を踏まえた取組の改善 ・小中一貫教育校開設に向けて、取組の推進と連携をさらに徹底し、具体的に取組を進める。

学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・生徒十訓の取組を通して、学力の向上と同時に人間として心の成長を望む。	
	評価日 平成29年11月7日	評価者 学校評議員会
各種指標結果（2回目） <b>【学校評価】</b> 生徒十訓を意識して学校生活が送れている（85%）		
自己評価	分析（成果と課題） ・生徒十訓の日を定め、生徒会が自主的に取り組むことにより、わずかではあるがポイントの上昇がみられた。 ・向島秀蓮小中学校開校に向けて、3校合同全体会議の定期的な開催や各部会の開催により、学校指導課、学校統合推進室や開設準備室の協力をいただきながら、さらに具体的に取組を進めることができた。	
	分析を踏まえた取組の改善 ・向島秀蓮小中学校開校に向けて、取組の推進と連携をさらに徹底し、具体的に取組を進める。	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 ・引き続き生徒十訓の取組を通して、学力の向上と同時に人間として心の成長を望む。	
	評価日 平成30年3月20日	評価者 学校評議員会